

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第18回 全国の集い in 高知2012

助成対象年度 : 2012年度前期

提出日 : 平成24年10月26日

1. 大会名

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
第18回 全国の集い i n 高知 2012

2. テーマ

『おらんくで、自分らしく、さいごまで』 ～地域の未来を考える～

3. 期 日

平成24年 9月16日（日） 9：00 ～ 17：30

平成24年 9月17日（月祝） 9：00 ～ 15：00

4. 会 場

高知市文化プラザかるぼーと
高知福祉専門学校

5. 開催主体

主催：NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

主管：全国の集い i n 高知 2012 実行委員会

6. 全国の集い i n 高知 2012 実行委員会（50音順・敬称略）

会 長：福田 善晴（医療法人大和会・社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会理事長）

副会長：壺井 康一（ネクストホームクリニック院長）

宮本 寛（南国中央病院副院長）

和田 忠志（全国在宅療養支援診療所連絡会理事）

村山 善紀（村山内科医院院長）

三宅敬二郎（在宅診療敬二郎クリニック）

永井 康德（医療法人ゆうの森理事長）

監 事：北村 善民（高知県地域生活定着支援センターセンター長）

山口 龍彦（高知厚生病院副院長）

委 員：市川 英明（かもだの診療所院長）

井上 章（高知県老人福祉施設協議会会長）

今井 稔也（みなみの風診療所院長）

内田 泰史（内田脳神経外科理事長）

小笠原 正（近森リハビリテーション病院理学療法科科长）

小笠原 望（大野内科院長）

沖 義一（高知県歯科医師会専務理事）

川村 信夫（高知市老人クラブ連合会会長）
川添 哲嗣（高知県薬剤師会）
楠目 隆（高知県社会福祉施設経営者協議会会長）
佐藤 政子（認知症の人と家族の会 高知県支部世話人代表）
武田 廣一（さんかく広場理事長）
田中きよむ（高知県立大学社会福祉学部教授）
津野 美保（高知県栄養士会会長）
寺田 茂雄（高知県医師会副会長）
野村 栄一（高知県介護支援専門員連絡協議会会長）
野村 清司（障がい者支援施設オイコニア施設長）
畠中 洋行（NPO高知市民会議事務局長）
前田 長司（高知県民生委員児童委員協議会連合会会長）
三谷 智省（有限会社高尾ビル代表取締役）
森下 幸子（高知県訪問看護ステーション連絡協議会副会長）
安岡しずか（訪問看護ステーションあたご所長）

7. 後 援（順不同）

厚生労働省・高知県・高知市・社団法人日本医師会・社団法人高知県医師会・社団法人高知市医師会・社団法人日本歯科医師会・社団法人高知県歯科医師会・公益社団法人日本看護協会・公益社団法人高知県看護協会・公益社団法人日本薬剤師会・社団法人高知県薬剤師会・社団法人日本理学療法士協会・公益社団法人高知県理学療法士会・社団法人日本作業療法士協会・社団法人高知県作業療法士会・一般社団法人日本言語聴覚士協会・高知県言語聴覚士会・公益社団法人日本栄養士会・公益社団法人高知県栄養士会・一般社団法人日本介護支援専門員協会・高知県介護支援専門員連絡協議会・高知県介護福祉士会・高知県社会福祉士会・高知県精神保健福祉士協会・財団法人日本訪問看護振興財団・高知県訪問看護ステーション連絡協議会・公益社団法人全国老人福祉施設協議会・高知県老人福祉施設協議会・社会福祉法人全国社会福祉協議会・社会福祉法人高知県社会福祉協議会・高知県社会福祉施設経営者協議会・高知県ホームヘルパー連絡協議会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・社団法人全国老人保健施設協会・高知県介護老人保健施設協議会・社団法人日本在宅医学会・一般社団法人日本プライマリ・ケア学会・全国在宅療養支援診療所連絡会・公益社団法人日本認知症グループホーム協会・一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会・全国老人デイ・ケア連絡協議会・特定非営利法人日本アビリティーズ協会・認知症の人と家族の会 高知県支部・高知市老人クラブ連合会・高知県立大学・高知福祉専門学校・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ

8. 対象者

会員及び一般市民

9. 目的

病気や障がいを抱えても、誰もがその人らしく安心して住み慣れた場所で、さいごまで過ごすことができる地域社会を構築するため、医療・保健・福祉・地域連携等の向上のための事業を行うことを目的とする。

10. プログラム

別紙1・2 参照

11. 参加者数

区 分	事前 申込	当日 申込	合計	%	内訳	
					県外	県内
会員・医師	295	28	323	27%	240	89
コメディカル	259	67	326	27%	243	85
市民一般	286	278	564	46%	46	510
合 計	840	373	1,213	100%	529	684

12. 全国の集い in 高知 2012 を終えて

「おらんくで自分らしくさいごまで」(地域の未来を考える)というテーマに沿い、様々な内容についてディスカッションが展開された。国内のほか、海外からはデンマーク、韓国、台湾から講師を招き、貴重な講演を拝聴することができ、広い視点から在宅ケアの意義を学び、多くの市民と熱く語り合うことができた大会であったと思う。1200名を超える参加者の在宅ケアに対する個々の想いが、大会を通じて一つの流れに収斂されていく様子に心震えた。

本大会を行うにあたり、昨年10月10日村山善紀大会長のもと徳島で「みんなで支える在宅ケア」、本年2月26日、三宅敬二郎大会長のもと香川で「老いても病んでも我が家で暮らせる地域づくり」、5月20日、永井康徳大会長のもと愛媛で「在宅療養最前線～在宅医療には社会を変える力がある～」、7月28日、石田一美大会長のもと長崎で「介護保険～2025年にむけて考える～」、8月5日、中嶋啓子大会長のもと大阪で「すべての住民の暮らしを地域で支える医療とケアのネットワークの構築を」と題してプレ大会を開催した。いずれの大会でも、在宅ケアや多職種協働に対する関心は非常に深いものがあり、熱い情熱を感じ、またこの流れを引き継ぎ、高知大会が

有意義な大会となった。私自身も多くの方と知り合う機会を得、加えて四国四県ともに非常に熱意のある先生、スタッフが多数いることを知った。四国は「在宅医療・在宅ケア」が全国と比較して遅れていると言われるが、各々が孤軍奮闘されている現状であろうと想像する。大会をきっかけに企画作成について何度も顔を合わせて話し合い、また一緒に食事し酒を飲むことによって顔馴染みとなり、お互いを知る良い機会となり、県境を越えて交流が深まったことは大きな財産である。この財産をネットワークという大きな力に変えていきたいと考えている。

謝 辞

今回の大会に対し、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団より助成を頂いたことに深謝致します。